一般
精神
療養

圧迫創傷(褥瘡)率

- a.新規圧迫創傷(褥瘡)発生率
  - 分子：調査期間中にd2（真皮までの損傷）以上の院内新規圧迫創傷発生患者数
  - 分母：調査期間初日(0時時点)の入院患者数+調査期間に新たに入院した患者数
- b.新規医療関連機器圧迫創傷（MDRPI）発生率
  - 分子：調査月の新規医療関連機器圧迫創傷（Medical Device Related Pressure Injury：MDRPI）発生患者数
  - 分母：調査期間初日(0時時点)の入院患者数+調査期間に新たに入院した患者数
- c.持ち込み圧迫創傷(褥瘡)率
  - 分子：入院後24時間以内に圧迫創傷発生の記録がある患者数
  - 分母：調査期間に新たに入院した患者数

算出方法

1. 調査期間初日(0時時点) に入院していた患者数を算出する。
2. 調査期間内に新たに入院した患者数を算出する。
3. 1+2の患者数をaおよびbの指標分母とする。
4. 2の患者数をcの指標分母とする。
5. 調査期間内に新たに施設内で発生したd2（真皮までの損傷）以上の圧迫創傷患者数（≠圧迫創傷個数）をaの分子とする。
6. 調査期間内に新たに施設内で発生したd2（真皮までの損傷）以上の医療関連機器圧迫創傷（MDRPI）患者数をbの分子とする。
7. 調査期間内に入院した患者で、入院後24時間以内に圧迫創傷発生の記録がある患者数をcの分子とする。

定義の解釈

- QIプロジェクトの定義は、圧迫創傷の持ち込みや調査期間以前の圧迫創傷の発生に関わらず、入院患者全体のうちどのくらい圧迫創傷が新規に発生しているかを見るもので、圧迫創傷ケアの質を評価するものである。

- 持ち込み圧迫創傷率は改善することが一般に困難な指標であり、圧迫創傷を持ち込む新規入院患者が入院患者のうち、どの程度かをみるものである。

用語定義

- The National Pressure Injury Advisory Panel.
  2016 definition.
  - Pressure injury
    - A pressure injury is localized damage to the skin and underlying soft tissue usually over a bony prominence or related to a medical or other device.
  - Medical Device-Related Pressure Injury (MDRPI)
    - Medical device-related pressure injuries result from the use of devices designed and applied for diagnostic or therapeutic purposes.

- 本プロジェクトでは【 Pressure injury 】を【圧迫創傷】、
  【 MDRPI 】を【医療関連機器圧迫創傷】とします。

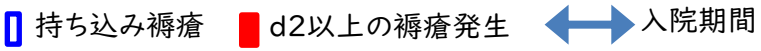
分母・分子計算例①

	調査期間外	調査期間	調査期間外	分母 A,B	分母 C	分子 A	分子 B	分子 C
例1		MDRPI		1	0	1	1	0
例2				1	0	0	0	0
例3				1	1	0	0	1
例4				1	0	0	0	0
例5		踵部	未治癒再入院	2	1	1	0	1
例6		踵部	仙骨部	1	0	1	0	0
例7	仙骨部	踵部		1	0	1	0	0
例8		踵部	MDRPI	1	0	1	1	0
例9		踵部	MDRPI	1	1	1	1	1

持ち込み褥瘡　d2以上の褥瘡発生　入院期間

分母・分子計算例②

	調査期間外	調査期間		調査期間外	分母 A,B	分母 C	分子 A	分子 B	分子 C
例10		MDRPI	未治癒で再入院		2	2	1	1	1
例11		仙骨部発生・治癒退院	持ち込みなしで再入院		2	2	1	0	0
例12	前月末日に退院				0	0	0	0	0
例13	前月末日に入院				1	0	0	0	0
例14			調査期間末日に入院		1	1	0	0	0



FAQ

- 圧迫創傷とはなんですか？
  - 以前は床ずれ、褥瘡、MDRPUと呼ばれていたものの総称です。2016年に米国 The National Pressure Injury Advisory Panel（国家圧迫創傷諮問委員会）により「通常、骨隆起の上にある、または医療機器や他の機器に関連した、皮膚およびその下の軟部組織への局所的な損傷 」（委員会訳）と定義されました。

- 褥瘡には通常褥瘡と医療関連機器圧迫創傷（MDRPI）があるが、いずれも対象としてよいか？
  - 分子Aでは通常褥瘡, MDRPIのいずれも対象となります。
  - 分子BはMDRPIのみ対象となります。

- 粘膜圧迫創傷（mucosal membrane pressure injury）は対象になりますか？
  - なりません。

- 医療関連機器圧迫創傷（MDRPI）のD1は対象になりますか？
  - なりません。日本褥瘡学会 改定 DESIGN-R® 2020 Depth(深さ) D2以上が対象となります。

- 持ち込み圧迫創傷は分母A, Bから除外する必要はありますか？
  - 必要ありません。指標A, Bは持ち込み圧迫創傷の有無にかかわらず調査期間中の新規褥瘡発生患者を分子対象としています。

- 調査期間中に踵部と仙骨部など異なる場所に通常褥瘡が発生した場合にはどのように算出しますか？
  - 調査期間中の新規発生患者数で算出するため分子1となります。

- すでにある圧迫創傷のすぐ近傍に発生した圧迫創傷は新規になりますか？
  - 近傍に発生する圧迫創傷は、これまでの圧迫創傷の拡大か新規発生かの判断は個々の症例によると考えられます。新規扱いとするかは各施設の判定となります。

参考資料

日本褥瘡学会
改定 DESIGN-R® 2020 Depth(深さ)

Depth（深さ）	内容
D0	皮膚損傷・発赤なし
D1	持続する発赤
D2	真皮までの損傷
D3	皮下組織までの損傷
D4	皮下組織を超える損傷
D5	関節腔、体腔に至る損傷
DTI	深部損傷褥瘡（DTI）疑い*2
U	壊死組織で覆われ深さの判定が不能

*2 深部損傷褥瘡（DTI）疑いは、視診・触診、補助データ（発生経緯、血液検査、画像診断等）から判断する

reference

1. The National Pressure Injury Advisory Panel; NPIAP Pressure Injury Stages. (https://npiap.com/resource/resmgr/online_store/npiap_pressure_injury_stages.pdf 2023.02.27)
2. The Joint Commission; Quick Safety Issue 25: Preventing pressure injuries (Updated March 2022). (https://www.jointcommission.org/-/media/tjc/newsletters/quick-safety-25-update-3-21-22.pdf 2023.02.28)
3. 編集 一般社団法人日本褥瘡学会. 褥瘡状態評価スケール 改定DESIGN-R®2020コンセンサス・ドキュメント. (http://www.jspu.org/jpn/member/pdf/design-r2020_doc.pdf 2021.05.19)

変更履歴

変更日	内容
2025/8/1	FAQ「分子Aから分子Bを除くと通常褥瘡の発生率となります。」を削除